

科 目 名	検査・測定実習【理学】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	溝 田 勝 彦・理学療法学専攻教員全員						
開 講 年 次	2	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	必 修（理学）
授業の概要 及びねらい	基礎医学および疾病と障害に関する知識と「見学実習」の経験を踏まえて、実習指導者の指導・教育のもと理学療法士の評価・治療場面の見学の他、初歩的な検査・測定の手順についても体験し、統合と解釈の重要性を理解する。本実習を通して、理学療法対象者の障害の多様性を認識し、専門知識と技術の重要性を理解する。						
授 業 の 到 達 目 標	1. 社会人・専門職としての基本的態度が理解できる。 2. 対象者とのコミュニケーションをとることができる。 3. 医療人として責任および節度のある態度と行動を身につける。 4. 実習指導者の指導のもと、説明を受けて検査・測定の実施理由を理解できる。 5. 実習指導者の指導のもと、初歩的な検査・測定を実施する。 6. 検査・測定の実施にあたり、対象者への配慮（リスク管理）ができる。						
学 習 方 法	臨床実習指導者の指導のもと、見学実習および初歩的な検査・測定の手順を体験する。						
テキスト及 び参考書等	特に指定しない。						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度							
その他	実習指導者の評価、実習報告書、セミナーでの発表・討論を総合して評価する。					100	
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	実習施設において実習指導者の指導のもと、理学療法場面の観察と見学、および初歩的な検査・測定の手順を体験する。 実習日時、実習施設、実習内容については改めてオリエンテーションを行う（実習期間は2週間）。 臨床実習後に学内において実習セミナーを開催し報告と討議を行う。						
第 2 週							
第 3 週							
第 4 週							
第 5 週							
第 6 週							
第 7 週							
第 8 週							
第 9 週							
第 10 週							
第 11 週							
第 12 週							
第 13 週							
第 14 週							
第 15 週							
第 16 週							
備 考							